

同志社大 一神教  
学際研究センター長 小原克博さん(44)



同志社大 一神教学際研究セン  
ター長に8月に就任しました。  
ここでは、ユダヤ教、キリスト  
教、イスラム教といった一神教  
やその世界に関して、いずれか  
に特化せず総合的に研究してい  
ます。宗教学だけでなく、安全  
保障や国際政治学、社会学など  
幅広く専門家が集まり、共同で  
研究をしているのも特徴です。  
こうした研究拠点は世界的に  
もユニークです。特定の一神教  
が支配的な国では、他の宗教を  
含めた研究を自由にはしにく  
い。一神教を信じる人の割合が  
少ない日本はその意味で、学問  
的に有利な位置にあります。  
9年前の9・11テロ後、「兄  
弟の関係」にあるはずのキリス  
ト教とイスラム教との間の寛容  
さが失われてしまった。「過激  
派」などを例外扱いし、話し合  
える人たちがだけが集まるような  
これまでの文明間対話は、ほと  
んど意味をなさない時代になっ  
た。対話を拒否する人たちがい

こはら・かつひろ 同志社  
大大学院神学研究科修了。専  
門は比較宗教倫理学、一神教  
研究。著書に「宗教のポリテ  
イクス」(晃洋書房)。

## 多宗教の研究 日本でこそ

かにして呼び入れ、現実的な解  
決につなげていくかという課題  
に今後とも取り組みます。

さらに、定期的な公開講演会  
などを通して、まだ一神教への  
理解が十分とは言えない日本  
社会と一神教世界との橋渡し  
役にもなりたいと考えていま  
す。

日本では、公教育で宗教を客  
観的に学ぶ機会がほとんどあり  
ません。海外では、「自分が信  
じているものを説明できない人  
は信頼できない」とよく言われ  
ます。京都は、ほかの一神教と  
比較しながら仏教や神道を理解  
するには絶好の場所です。「一  
神教は排他的だが、多神教は寛  
容」というのは紋切り型の見  
方。さまざまな宗教の多様な側  
面を伝えていければと思います。  
(聞き手・小林正典)